

教えて♪ もくじい。シリーズ⑥

身延町の植物

身延町は県南部に位置し、町の中央を日本三大急流の一つである富士川が流れ、春先から晩秋まで太平洋側の暖かい気流が富士川に沿って入り込んでくるため、気候は比較的温暖で雨の多い地域です。このため町の南部では富士川沿いに静岡県側から暖地性の植物が北上し、山梨県内における暖地性植物の北限地としてみることができます。

★身延町内で見られる主な暖地性植物

樹木…タブノキ・サカキ・ヤブツバキ・ニッケイ
・ナンテン・ヒイラギ・ユズリハ・ツクバ
ネガシ・アラカシ・ウラジロガシ・シュロ

つる性…テイカカズラ・イタビカズラ・サネカズ
ラ・ツツラフジ

草本類…シャガ・キチジョウソウ

シダ類…コモチシダ・アマクサシダ・コシダ・
ウラジロ・サジラン

ラン科植物…カヤラン・ベニカヤラン(マツラン)・ムギラン・ヨウラクラン・クモラン



もくじい。は、身延町立木喰の里
微笑館のオリジナルキャラクター

木材生産を目的に町内の山々には
スギ・ヒノキがたくさん植えられて
おるが、その林床には暖地性植物が
見られるんじゃ。身延山久遠寺周辺
では4月から5月にかけてシャガの
花が一斉に咲いてきれいじゃよ。

※シャガ…日本各地の低地や里山の湿った
森林に見られる常緑の多年草。別名「胡蝶
花」とも呼ばれる。

天然記念物に指定された暖地性植物①

★一色のニッケイ 昭和36.12.7県指定

ニッケイは、クスノキ科に属する暖地性の常緑高木であり、本県における栽植は珍しいものです。ニッケイの輸入は、牧野富太郎博士によれば、享保年間(1716~1736年)に中国から入ってきたもので、原産はインドシナだといわれます。古来樹皮(幹または根)を乾燥したものを肉桂皮(につけいひ)と称し、薬用、菓子、香料として用い、細根をそのまま10cmほどに切って束ね、俗に「ニッキ」と称し戦前頃まで子どもたちの駄菓子の代用にしました。本樹は、樹齢およそ200年と推定されます。



★湯之奥群生ウラジロガシ 昭和54.4.1町指定

湯之奥集落の路を上りきったところの山神社境内の表参道東斜面一帯に、ツガ、モミ等の雑木とともに、ウラジロガシが生育し社叢をなしています。目通り幹囲2.4m以上の古木が数本あり、特に太いものは4m、樹高も約15mに達しています。葉は、先がとがった長楕円形で、長さ5~10cm位で、縁には鋸歯があり、裏面にははじめ絹毛が密生しますが、のち無毛となり、蠟状物質を分泌して白色を帯びます。ここのウラジロガシ林は、身延山、七面山とともに北限として貴重なものです。

★神の平のタブノキ 昭和44.4.5町指定

波木井一区の古屋敷へ上がっていく途中の公民館脇にあります。周囲に立木がほとんどなく、独立樹として育ったもので枝は四方に延ばし、北側の下枝二、三本は伐られています。樹冠半球形をなし、タブノキとしての自然の樹形を保ち立派です。西側の下枝の先に僅かに外枝をみる外ほとんど枯枝はなく樹勢は旺盛。本樹は県下におけるタブノキの分布の北限にあり、その上相当な大木で、しかも、自然の樹形を呈し学術上きわめて貴重な資料です。また、この神社あたりは円実寺の尼寺があったところとも伝えられます。



ニッケイ文章中の牧野富太郎博士(1862-1957)は高知県生まれで、“日本の植物学の父”とも言われる研究者じゃ。2023年NHK連続テレビ小説『らんまん』では牧野博士をモデルとした主人公榎野万太郎を神木隆之介さんが演じる予定じゃよ。



天然記念物に指定された暖地性植物②



★波木井のヤブツバキ
昭和50.4.1町指定
波木井の旧国道沿い東側にあります。地上1.1mで三幹となり、それが合着して一幹となったものです。樹幹は円形で多くの花が咲きます。樹勢は良好ですが

樹冠小枝に少し外枝が見られます。これほどの巨樹は珍しく、富士川流域では北限に近いといわれます。その樹形は美しいものとされましたが、害虫の発生に悩まされ、平成17年に枝を大きく切りました。3月上旬くらいに赤い花をたくさん咲かせます。



★一宮の^{さかき}榊の^{ぐんらく}群落 昭和49.4.1町指定

下山の^{いちのみやかもしんじや}一宮賀茂神社境内の西側一帯に自生しています。サカキは、本州中部以西、四国、九州の暖地の山地に自生するツバキ科の常緑高木です。神社の境内や庭園に植栽され、枝葉はよく神事に用いられます。本県では県南部の地域に自生地が見られ、ここ一宮のサカキ群落は、富士川流域における天然分布の北限といわれます。山梨県の“自然記念物”にも指定されています。

“天然記念物”は文化財^{ぶんかざいほごほう}保護法あるいは県・町の文化財保護条例に基づき指定されて守られているものじゃが、“自然記念物”は県の自然環境^{しぜんかんきょうほぜんじょうり}保全条例に基づいて指定されて守られているものじゃ。動物、植物、地質^{ちしつこうぶつ}鉱物等で住民に親しまれているもの、由緒のあるものまたは学術的価値のあるもののうち、将来にわたって保存する必要があるものが対象^{たうじやう}じゃ。身延町内ではサカキ林のほかに^{かきしつてきかち}栢代川上流のハコネサンショウウオの生息地や、早川橋のモクゲンジ林、^{そりきがわ}反木川上流のヨコグラノキ、^{おぼらしま}小原島の貝化石が指定されておるぞ。



巨樹・名木①

巨樹：偉大な太さ(幹囲)を有する樹木。木の種類によって太さの基準は異なる。
名木：その土地の歴史・生活・風習・信仰と密接な関係を有する樹木や、特異な樹形を呈する樹木、珍奇な種類に属する樹木。



★日蓮聖人お手植の杉 昭和44.9.12町指定
身延山^{しんねん}思親閣^{しんしんかく}境内に日蓮聖人のお手植えと伝えられる老杉4本が高くそびえています。四本は、父の妙日尊儀菩提記念(目通り幹囲5.3m)、母の妙蓮尊儀菩提記念(目通り幹囲5.35m)、師の道善房報恩記念(目通り幹囲5.6m)、立正安国祈念(目通り幹囲5.3m)と伝わります。



★身延山の千本杉 昭和34.2.9県指定
身延山の妙石坊^{みょうせきぼう}から松樹庵^{しょうじゅあん}を経て追分^{おいわけ}に至る道の途中に「身延山の千本杉」と呼ばれるスギ林があります。面積は0.8ヘクタール、本数は約260本、材積量8500石、樹齢は250年以上、木の大きさは様々で目通り幹囲3m内外、時に5m以上のももあります。樹高は55m内外となり、樹高の大なることでも県下にもまれに見るものです。樹勢きわめて旺盛で、材積量は1ヘクタールあたり1万石に相当し、造林学の権威・中村賢太郎博士からは材積量の多いことにおいて、東洋でもまれに見る美林と激賞されています。

★身延の六老杉 平成30.3.1県指定
身延山南側の鷹取山中腹^{たかとりやま}の杉林の中にそびえています。妙石坊付近、身延川右岸の山道入口から本樹までは200mの比高差があり、現地までは大変険しい山道です。伝承によると、日蓮聖人が身延山に入山された当時の住まいは身延山西谷の谷間にあり、畑を作る土地がなかったため、六老僧^{ろくろうそう}をはじめとする高弟^{こうてい}が十数町もの山道を登って山腹の平坦部を開墾し、野菜を栽培したと伝わります。当地がその畑地ともいわれ、いつしかスギを植栽したので後世に「六老杉」と呼ばれるようになりました。



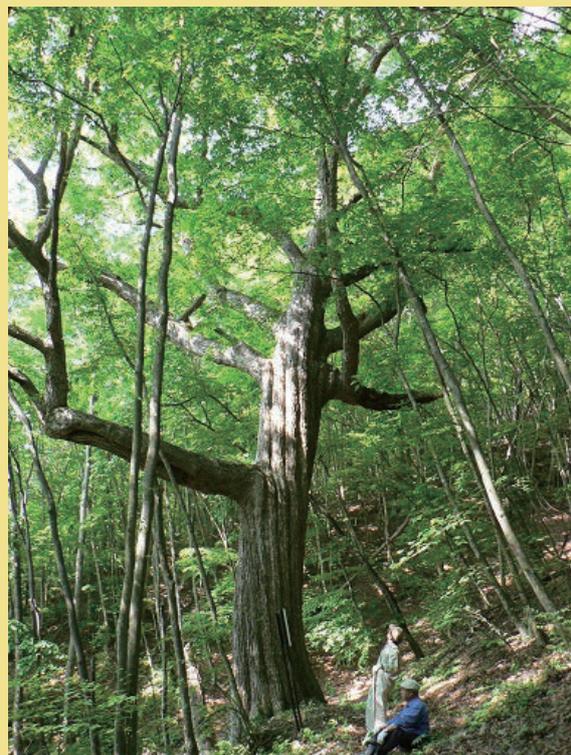
六老杉は左の写真のように、久遠寺境内などからもその偉大な姿を望むことができるんじゃない。久遠寺はしだれ桜の名所としても有名じゃが、杉の巨樹・名木にもぜひ注目してほしいのう。



巨樹・名木②

★八坂のミズナラ 昭和54.4.1町指定

八坂区三ツ沢地内から金山神社をぬけて八坂地内へ行く山路の途中にあります。区有林内に生育している巨樹で樹勢は極めて旺盛です。幹はねじれたようになってそびえており、根元に立って見上げるとその大きさに圧倒されます。ミズナラはブナ科の落葉高木で、コナラよりやや高地にあり大形でオオナラともいう。徒歩でおよそ30分ほどかかり、急斜面にあるので見学にあたっては注意が必要です。



★諏訪神社のヒノキ

昭和41.3.1町指定

このヒノキは西嶋北側の国道と旧国道にはさまれたところにある諏訪神社の社前にあって、創建当時(文明15年・1483)移植されたものと伝わります。昔から樹木そのものに神霊が宿ると信じられ、神木として、境内の特に大きな木に注連を張って祭りをする習慣がありました。各地の「木下」「杉本」「松本」などの地名は、神木の元での祭りを示しています。信州の諏訪に古く七木(しちばく)という霊現木の一つにヒノキがあります。当社のヒノキの神木は、諏訪神社だけに縁起のよい神木です。



★常葉諏訪神社大ケヤキ等 昭和54.4.1町指定

同神社は、社記などの参考文献によれば、建治元年(1275年)3月、信濃国諏訪郡諏訪大社から勧請してきたものといわれています。境内の立木の大部分は社寺林として植栽したのではなく、すでに以前からこの地に自生していたものがそのまま残ったものと思われ、樹齢400~500年を経過したと推定されるスギ、ケヤキもあります。スギ9本、サクラ4本、ケヤキ5本、カヤ2本、エノキ4本が社を取り巻いており、このうち特に大きいケヤキ1本、スギ4本、エノキ1本が指定されています。



常葉諏訪神社の社叢では営巣する野鳥も多く、渡り鳥のアオバズクやブッポウソウも飛来したことがあるんじゃ。

町の花 “ヤマユリ”



ヤマユリはユリ科ユリ属の多年生植物です。ユリ属は世界に96種確認されており、日本には15種が自生しています。そのうち8種は日本の固有種で、ヤマユリもその一つです。和名は山地に生えることに由来しますが、学名の *Lilium auratum* には「黄金色のユリ」の意味があります。身延町では7月中旬頃に咲き、茎の先に1個から数個、ときには10個以上の白い花を横向きに咲かせます。ユリ科の中でも最大級であり、豪華で華麗な姿から「ユリの王様」とも呼ばれ、鱗茎はユリ根として食用にされます。

ヤマユリの種は2年目の春に芽を出し、開花までは5年以上かかるそうじゃ。古い株ほどたくさんの花をつけるんじゃが、身延町長塩のヤマユリ自生地では時期になると見事な花が見られるぞ。地元のヤマユリ保存会は自生地を守るために、草刈や防獣ネットの設置など地道な取組を長年続けているんじゃ。美しい里山の景観をいつまでも残してほしいのう。



★山梨県市町村のシンボル花・シンボル木を知ろう！

市町村名	シンボル花	シンボル木	市町村名	シンボル花	シンボル木
山梨県	フジザクラ	カエデ	市川三郷町	リンドウ	サクラ
甲府市	ナデシコ	カシ	早川町	ミツバツツジ	カツラ
富士吉田市	フジザクラ	シラカバ	身延町	ヤマユリ	シダレザクラ
都留市	ウメ	アカマツ	南部町	アジサイ	ヒノキ
山梨市	ツツジ	マツ	富士川町	サクラ	ユズ
大月市	ヤマユリ	ヤエザクラ	昭和町	レンゲ	オトメツバキ
韮崎市	レンゲツツジ	サクラ	道志村	ヤマユリ	スギ
南アルプス市	アヤメ	モモ	西桂町	スイセン	アカマツ
北杜市	ヒマワリ	アカマツ	忍野村	フッキソウ	イチイ
甲斐市	サクラ	ケヤキ	山中湖村	サンショウバラ	イチイ
笛吹市	バラ	モモ	鳴沢村	シャクナゲ	イチイ
上野原市	リンドウ	ヤマモミジ	富士河口湖町	ツキミソウ	アカマツ
甲州市	サクラ	ブドウ	小菅村	ミツバツツジ	ヒノキ
中央市	レンゲソウ	サクラ	丹波山村	ミツバツツジ	ブナ

町の木 “しだれ桜”

しだれ桜とは枝が柳のように垂れ下がる桜の総称です。エドヒガンの変種が多く、他にも様々な品種があります。開花時期は桜前線の主な標本木とされるソメイヨシノより一週間ほど早く、身延町では3月下旬～4月初旬に淡いピンク色の花を咲かせます。糸を垂らしたような姿から“イトザクラ”という別名でも呼ばれます。樹齢400年以上とされる久遠寺のしだれ桜を代表に、町内各所に植えられており、“町の木”にも選ばれています。身延町は日本一のしだれ桜の里づくりを目指し、富士川クラフトパークに5,200本以上のしだれ桜を植えるなど事業を推進しています。



日本一のしだれ桜の里づくり事業は、平成27年度に身延高校の生徒から町長へ「町全体にしだれ桜を植えて、しだれ桜の里にしたらどうか」という提案があって始まったんじゃ。クラフトパークのほかに、町内の各施設や自治会にも声をかけ、町内への植樹を進めておるぞ。地元高校生の夢が明るい未来の町づくりにつながると嬉しいのう。

身延の名前がついた植物



1982.4.9 by Kazuji Mochizuki

★願満堂のミノブザクラ

ミノブザクラは昭和24年(1949)に植物研究家古瀬義氏ふるせ ぎしによって採集され、大井次三郎博士によって命名されたものです。マメザクラとヤマザクラの間種と考えられ、散形花序さんけいかじょと散房花序さんぽうの両方が見られますが、ヤマザクラより小形で若枝に開出短毛があるなどの相違点があります。非常に珍しい桜で身延山西谷の願満堂のミノブザクラは昭和59年(1984)に町の天然記念物に指定されましたが、周辺環境の変化に伴い年々樹勢が衰え、平成17年(2005)頃に枯れてしまいました。当時幸いにも根本から若い木が生えており、保護柵しんぎかいすくを設けるなど樹勢回復を図ってきましたが、平成24年(2012)2月の大雪で根元から折れてしまい、指定は解除されました。



ミノブザクラは身延町の名前がついた唯一の植物じゃ。身延山大学の構内や久遠寺甘露門くわんろもんの下などで形質の良く似た桜が見られるんじゃが、植えられた経緯がわからず、すばりミノブザクラとはいえんのじゃ。標本木の願満堂のミノブザクラが枯れてしまったのは残念じゃが、大雪で折れたしまったときに枝を切りとり、挿し木にして種の保存ができておる。いつか再び元気に咲く姿をみんなに見てもらいたいのう。



「身延町の良いところは何ですか？」という質問に、「豊かな自然」と答える人が多くいます。では「豊かな自然とは何ですか？」と聞かれたら、皆さんはどう答えますか。私たちは長い歴史の中で、地域の自然との深い関わりをもって暮らしてきました。今回、町の天然記念物に指定された樹木等を紹介しましたが、植物は動物や地質鉱物とともに地域の自然を語る貴重な財産です。今回の資料がそうした財産が身近にあることを知り、真に豊かな自然とは何かを考えるきっかけになれば幸いです。

お問合せ先：身延町教育委員会 生涯学習課 文化財担当
住所 身延町常葉1025 電話 0556-20-3017
発行年月日：令和4年7月12日